

がん 検診手帳

CANCER SCREENING POCKETBOOK

この手帳は、
子宮頸がんの検診を
受けるための説明書です。

クーポン券の使い方

A

集団検診（保健センターや地域の学校、公民館などの会場、ヘルスサポートセンター鹿児島、さがらパース通りクリニック）で受診したい場合



ハガキに記載された二次元バーコードより日程を確認します。事前に申し込みが必要です。



B

個別の医療機関で受診したい場合



ハガキに記載された二次元バーコードより医療機関で受診できます。事前に医療機関にお問い合わせください。

このクーポン券を利用した「子宮頸がん検診」は前年度に（昨年の4月2日から今年の4月1日までのあいだに）20歳になった女性の皆さんを対象にしています。

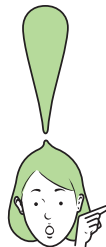
「無料クーポン券」と「本人確認書類
(マイナンバーカード等)」を持参し、
受付に提出してください。



問診票を記入し、検診を受けてください。



後日、検診結果をお知らせします。



「がん検診無料クーポン券」には有効期限があります。
ハガキに記載の有効期間内に必ず使用してください。

<はじめに>

がんがまだ「他人事」のあなたへ

日本人の2人に1人が、生涯にがんを発症します。若くても、これまで病気ひとつしたことがなくても、突然、がんが見つかる可能性はあります。特に女性は、若い世代でがんになる方が多いのです。では、いったいどうすればよいのでしょうか？まずは、この手帳を読んでください。そして、がん検診を受けてください。それが、「がんで命を落とさないための特效薬」なのです。



がん検診ってなに？

がんによる死亡を防ぐためには、がんにかからないようにすることが重要です。がんは遺伝するといわれていますが、実は、遺伝によるがんは5%程度と少なく、むしろ、喫煙、食生活及び運動等の生活習慣が原因である方が多く、これらに気をつけて発がんリスクを下げる必要があります。しかし、発がんリスクを下げるため生活習慣の改善を心がけたとしても、がんにかかるリスクをゼロにすることはできません。そこで重要となるのが、がん検診です。医学の進歩等により、がんは、現在、約64%の方が“治る”ようになりました。特に進行していない初期の段階で発見し、適切な治療を行うことで、非常に高い確率で治癒します。従って、そうしたがんを“初期”の段階で見つける「がん検診」は、がんの死亡率を下げるのに非常に有効だと考えられます。しかし、日本のがん検診受診率はOECD加盟国の中で最低レベルです。米国などでは、がんの死亡者数が、減っていますが、日本では増えています。いまや年間およそ38万人（死因の約4分の1）が、がんで亡くなっています。これは世界最高レベルです。

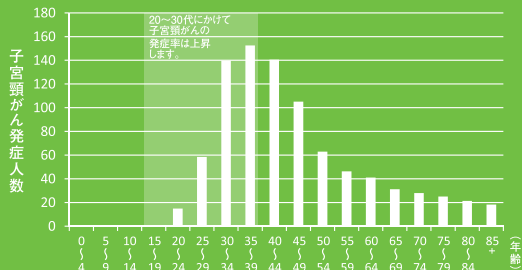
「子宮頸がん」ってどんな病気？

子宮頸がんは、子宮の入り口である子宮頸部の表面の細胞にがんができる病気です。子宮頸がんは日本では年間約*33,600人が発症し、約2,800人が死亡しているがんです。また、たとえ死亡に至らないまでも、ごく初期のがんを除いては子宮全摘が施行され、その場合は妊娠や出産ができなくなることはもちろん、排尿障害などの後遺症やQOL（生活の質）低下に悩まされることもあります。子宮頸がんは近年、20代や30代の若年層で増加傾向にあり、これから結婚や出産を迎える年代の女性や、幼い子どもを持つ母親にとって深刻な問題です。子宮頸がんは、若い女性の妊娠や出産の可能性、健やかな日常生活を奪うがんと言えます。

*上皮内がんを含む

日本人女性における子宮頸がんの発症状況(2023年)

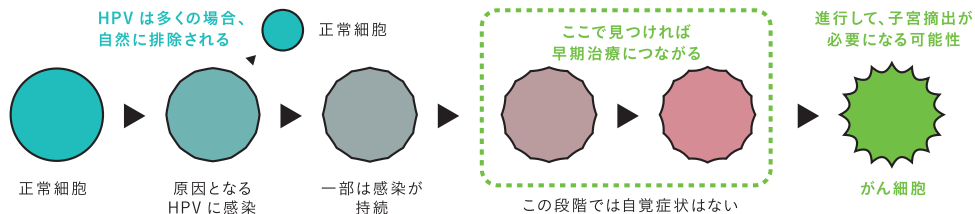
(人口10万人あたりの人数)



(出典) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)(上皮内がんを含む)

子宮頸がん検診が効果的です

子宮頸がんは、初期には症状がほとんどなく、自覚症状があらわれる頃には病状が進行していることが少なくありません。しかし、子宮頸がん検診を受けることで、がんになる前の正常でない細胞の段階で発見することも可能です。子宮頸がん検診の効果のほどは実証済みで、欧米では、約8割の女性が検診を受けているほどです。検診は、ヘラやブラシなどで子宮頸部の細胞をこすり取るだけで、少し出血する可能性はありますが、痛みを感じることは少ないです。検診を受けることは子宮頸がん予防と早期発見への第一歩です。面倒だから恥ずかしいから…とためらわず、20歳を過ぎたら、2年に1度、継続的に検診を受け続けることが大事ですので、お忘れなく。



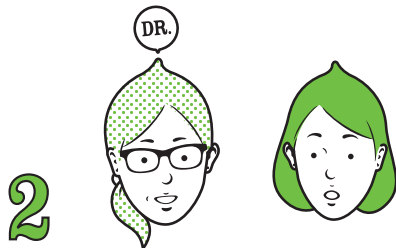
子宮頸がん検診ではどのような検査をするのですか？



問診：初潮の年齢や生理の様子、妊娠・出産歴、
自覚症状の有無などを問診票に記入。さらに、
診察室で医師からの質問に答えます。



細胞診：ヘラやブラシのようなものを膣内に挿入し、
子宮頸部の粘膜を軽くなでるようにして細胞を
採取します。この時、少し出血する可能性はありますが、
痛みなどを感じることは少ないです。



視診（内診）：内診台にて、医師による診察を受けます。
子宮頸部の状態を目で確認し（視診）、子宮などに腫れが
ないか調べます。



検査終了：診察時間は、10～20分です。約2～4週間で、
細胞診の結果も含めた検査結果がわかります。

子宮頸がんの原因について

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスの持続的な感染が原因となって発症します。HPV の子宮頸部への感染はほとんどが性交渉によりますが、このウイルスに感染すること自体は決して特別なことではなく、誰でも感染する可能性があります。HPV に感染しても、ほとんどの場合は自然に排除されますが、ウイルスが排除されずに長期間感染が続く場合があります、ごく一部のケースで数年～数十年間かけて、子宮頸がんを発症します。子宮頸がんは長期間かけて発症する病気であり、早期に発見すればがんといってもほぼ治癒します。検診で、子宮頸がんからあなたの体を守りましょう。

なぜ、「子宮頸がん」の検診は
効果的なのか

—子宮頸がんについての素朴なギモンに答えます—

3つの理由

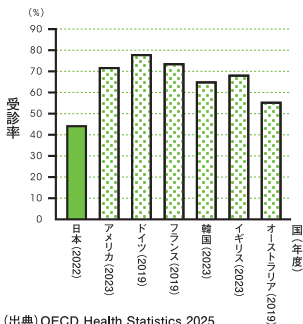


まわりも子宮頸がん検診を
受けていないから、
平気…？

日本のがん検診受診率は
OECD加盟国の中で最低レベルです。
また、特に若い世代で
子宮頸がんが増えています。

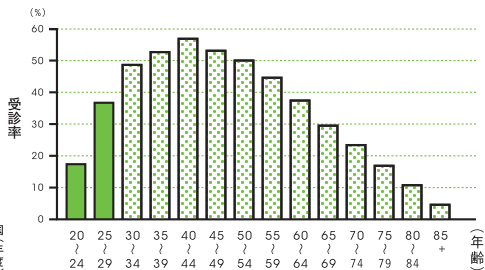
子宮頸がん検診の場合、米国では70%以上の女性が受けているのに、日本では40%程度です。特に、20歳台前半の女性で子宮頸がん検診を受けているのは17%ほどで、極めて低い状況です。子宮頸がんは20代・30代に急増中であるため、このような年代から子宮頸がん検診を受けるべきです。

先進国の子宮頸がん検診受診率
(20～69歳)

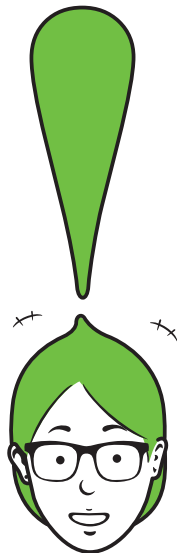


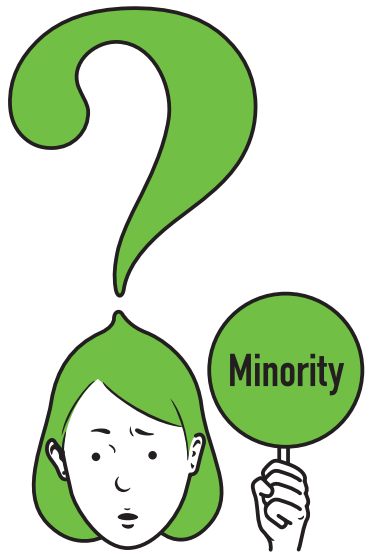
(出典) OECD Health Statistics 2025

日本人女性における子宮頸がん検診の年齢別受診状況
(過去2年間の受診状況)



(出典) 厚生労働省 令和4年国民生活基礎調査



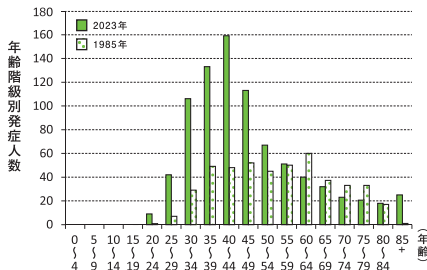


20代、30代で
子宮頸がんになるのは、
少数派なのでは？

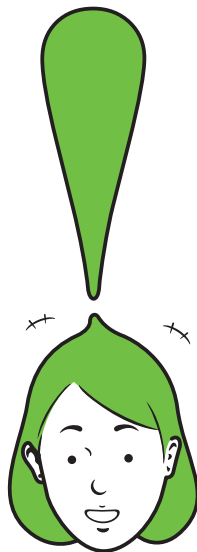
子宮頸がんの原因はウイルスの持続的な感染で、若い人に増えています。一般的にがんは、年齢とともに発症数が増えますが、子宮頸がんは20代や30代で増加傾向にあります。早期がんでは症状は出ないので、検診が必要です。

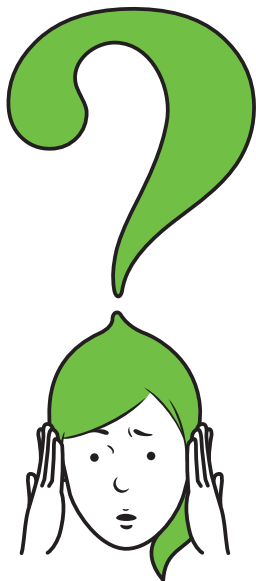
子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスの持続的な感染が原因となって発症します。過去30年でみると、20～30代に急増しています。妊娠をきっかけに、子宮頸がんが発見されることもめずらしくありません。早期発見のためには子宮頸がん検診が効果的です。検診は、ヘラやブラシなどで子宮頸部の細胞をこすり取るだけの簡単なもので、痛みも少なく、数分で終了します。

子宮頸がん発症の若年化の傾向



(出典) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」
(全国がん罹患モニタリング集計(MCIJ))(上皮内がんを含む)

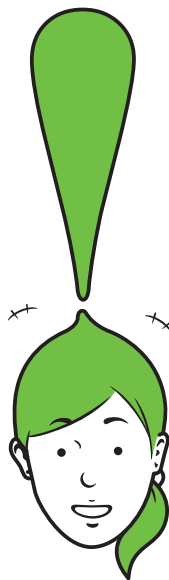




子宮頸がんになつたと知るのが
コワイんだけど…

子宮頸がんは不治の病ではありません。8割程度が治ると考えられます。早期がんなら、完治の可能性もぐっと高くなります。

子宮頸がんは、初期の段階ではほとんど無症状で、子宮頸がん検診によって発見されることが多いがんです。子宮頸がんは検診の有効性が世界各国で証明されています。がん検診を受けずに、がんが進行すれば、つらい症状が出てくる可能性がありますし、治癒率も減ってきます。もっとも初期の段階のがんでは子宮頸部の異常な組織を取り除く手術（円錐切除術）によって9割以上が治り、子宮も温存できます。しかし、がんの進行とともに治癒率は下がりますし子宮全摘が施行されます。ほんとうにコワイのは、「がんが進行しているのに気づいていない」状態ではないでしょうか？



あなたのメモ欄

あなたの「子宮頸がん検診記録」

私の診察日は 令和 年(20 年) 月 日 曜日

結果郵送日は 令和 年(20 年) 月 日 曜日

検診内容： 受診機関：

検査結果：

病院名： 担当医の名前：

病院の住所：

病院の電話番号：

今後の検診予定

〈子宮頸がん検診〉

その次の検診は2年後に受けてほしいので

令和 年(20 年)度

検診内容：

受診機関：

検査結果：

検診の結果、がんとわかってても、決してあわてない！

相談支援センターは、あなたのために、ともに考え、ともに歩みます。

ご本人やご家族が、がんの治療を受けるうえでの不安や悩み、療養生活や仕事のことについて気軽に相談していただけるよう「相談支援センター」を設置しています。

相談員が皆様のお話を伺い、一緒に考え、課題解決のお手伝いをさせていただきます。

また、お話をお伺いし、専門の看護師やスタッフをご紹介しますことができます。

また、相談支援センターでは、ご本人やご家族が得た情報をわかりやすく解説したり、一緒に整理していくお手伝いもしています。

ご相談は相談支援センターに直接お越しいただく方法と、電話でお話を伺う方法があります。

【対面相談】



- ◎相談内容の秘密は厳守いたします。
- ◎相談をすることにより不利益が生ずることはありません。
- ◎相談は無料です。

【電話相談】



次のページの一覧をごらんください。

がん相談支援センター一覧 (1)

病院名／施設名	電話／対応時間
鹿児島大学病院 【がん相談支援センター】	099-275-6395(直通) 平日9時～17時
鹿児島市立病院 【がん相談支援センター】	099-230-7010(直通) 平日8時30分～17時15分
国立病院機構鹿児島医療センター 【がん相談支援センター】	099-223-1151(代表) 平日9時～16時
昭和会いまきいれ総合病院 【がん相談支援センター】	099-203-9123(直通) 平日8時30分～17時
済生会川内病院 【がん相談支援センター】	0996-23-5221(代表) 平日9時～12時・13時～16時
出水郡医師会広域医療センター 【がん相談支援センター】	0996-73-1542(直通) 平日8時30分～16時30分 土曜日8時30分～12時30分

病院名／施設名	電話／対応時間
国立病院機構南九州病院 【がん相談支援センター】	0995-62-3677(直通) 平日9時～17時
県民健康プラザ鹿屋医療センター 【がん相談支援センター】	0994-42-0981(直通) 平日9時～12時・13時～17時
義順顕彰会種子島医療センター 【がん相談支援センター】	0997-22-0960(代表) 平日9時～12時・14時～17時
県立薩南病院 【がん相談支援センター】	0993-53-5300(内線351) 平日8時30分～17時15分
県立大島病院 【がん相談支援センター】	0997-52-3611(内線3465) 平日8時30分～17時
霧島市立医師会医療センター 【がん相談支援センター】	080-1605-7469(直通) 平日10時～17時

令和8年4月27日現在

がん相談支援センター一覧（2）

病院名／施設名	電話／対応時間
鹿児島共済会南風病院 【医療福祉相談室】	0570-01-7333(代表) 平日9時～17時
鹿児島厚生連病院 【相談支援センター】	099-252-2228(代表) 平日9時～16時
慈愛会今村総合病院 【がん相談支援室】	099-251-2221(代表) 平日9時～16時
鹿児島市医師会病院 【医療連携・相談室】	099-254-1121(直通) 平日9時～16時 土曜日8時30分～12時30分
聖医学会サザン・リージョン病院 【患者支援相談室】	0993-72-1351(代表) 平日8時～17時 土曜日8時～12時
国立病院機構指宿医療センター 【地域医療連携室】	0993-22-2231(内線260) 平日9時～17時
川内市医師会立市民病院 【患者サポートセンター】	0996-22-1111(代表) 平日9時～17時 土曜日9時～12時30分

病院名／施設名	電話／対応時間
出水総合医療センター 【地域医療支援センター】	0996-67-1657(直通) 平日8時30分～17時15分
県立北薩病院 【地域医療連携室】	0995-22-8511(代表) 平日9時30分～16時
徳洲会大隅鹿屋病院 【患者サポートセンター】	0994-40-1111(代表) 平日8時30分～17時
曾於医師会立病院 【地域連携室】	099-482-4888(代表) 平日8時30分～17時 土曜日8時30分～12時30分 (第1,3土曜日は除く)
恒心会おぐら病院 【医療相談室】	0994-31-1631(直通) 平日8時30分～17時 土曜日8時30分～12時30分
青仁会池田病院 【ケアサポートセンター】	0994-43-3434(代表) 月～土曜日8時30分～17時
真栄会にいむら病院 【がん相談支援センター】	099-251-6812(直通) 平日9時～17時